



独立行政法人国立病院機構 東徳島医療センター

〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1

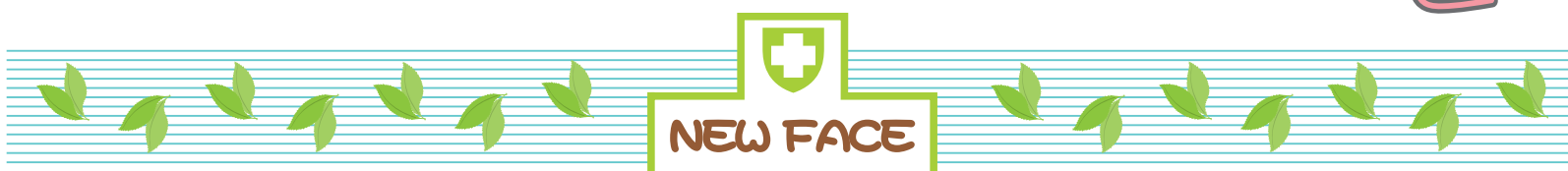
TEL 088-672-1171 FAX 088-672-3809 URL <http://www.etokushima-mc.jp/> e-mail 515sy01@hosp.go.jp

やさしい笑顔と よりそう医療

12月号

vol.161

2018.12.1



医局

名 前	なかにし あきな 中西 明奈
職 種	消化器内科医師
趣 味	絵を描くこと
自己PR	至らぬ点も多々ありますが、頑張ります。 ご指導のほどよろしくお願いいたします。



マンモグラフィ装置が 新しくなりました

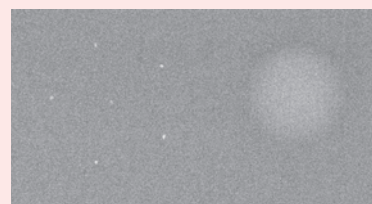
11月からマンモグラフィ装置が、MAMMOMAT Inspiration (SIEMENS製) に新しく変わりました。X線検出器がFPD (Flat Panel Detector) になり、これまでのCR (Computed Radiography) と比べて低い線量で高画質を得ることができます。乳腺の量にもよりますが、乳房厚2cmの方で約4割、4cmの方で約5割の被ばく低減となります。

トモシンセシス (3Dマンモグラフィ) も搭載しており、従来の2D画像では乳腺に重なって分かりにくい病変を乳腺と分離して観察することができます。トモシンセシスは、Tomography (断層) とSynthesis (合成) から作られた造語で、X線管を動かして異なる角度から複数回曝射を行い、その画像を再構成した3Dデータで観察します。2D画像では重なって分からなかった厚み方向の分解能を得ることができます。

乳房を圧迫するという撮影方法は今までと変わらないのですが、圧迫板が柔らかめの素材でできており乳房の形に合わせてしなるため、個人差はありますが、今までより痛みが少なく感じて頂けるかもしれません。

当院では毎年5・6月、8・9月、11・12月、金曜13時より町の乳癌検診を行っております。(検診は2D画像のみの撮影です。) 予約・空き状況の確認はお電話もしくは直接受付へお声かけください。

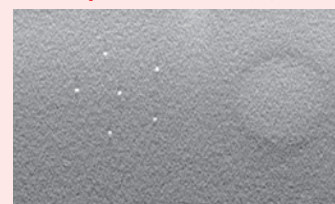
2D



↑石灰化

↑腫瘍

トモシンセシス



↑石灰化

↑腫瘍



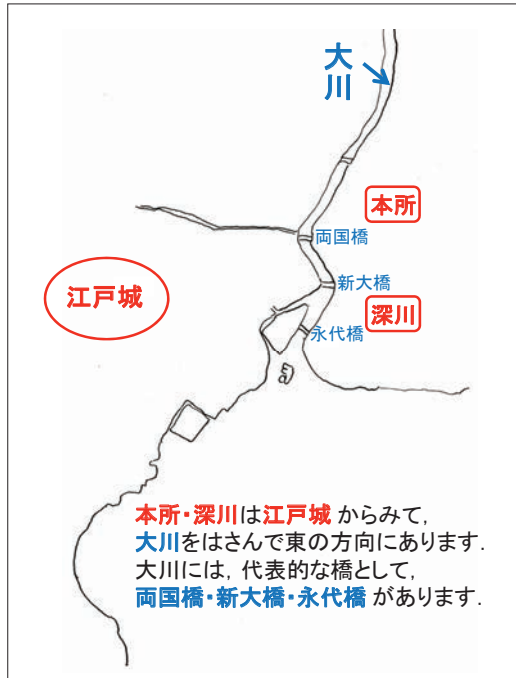
(放射線技師／細谷 未来)

本所・深川・大川

内科 三好 宏和

「本所・深川・大川」のフレーズを聞くと、お気に入りの時代小説（愛読書）の主人公・情景が思い描かれる方も多いかもしれません。本所・深川は時代小説ファンには馴染みの場所です。直木賞作家の宮部みゆきさんの「本所・深川ふしぎ草紙」は、本所・深川周辺の情景が思い描かれる読みやすい短編集です。人気急上昇中の畠山健二さんの「本所おけら長屋」も本所の人情あふれる庶民の物語です。また12月14日といえば歴史好きの方にとっては赤穂浪士討ち入りの日ですが、吉良上野介の上屋敷も本所にありました。山本一力さんは深川が舞台の時代小説を多く書いています。直木賞受賞作である「あかね空」も深川が舞台となっており、映画化もされ人情味あふれる人気作品です。

江戸の中心部（江戸城周辺）と本所・深川の間には大川が流れています。大川は現在の間田川ですが、当時の大川には現在と同じ名称の橋がかかっています。代表的な橋としては、両国橋・新大橋・永代橋があります。江戸城周辺部と本所・深川との行き来（往来）には、通常は橋を利用し大川を渡ります。佐伯泰英さんのベストセラーである「居眠り磐音江戸双紙」の主人公である坂崎磐音が暮らしたのが深川六間堀の長屋でしたが、重要な場面で橋（両国橋・新大橋・永代橋）



大川が描かれています。宇江佐真理さんの「髪結い伊三次捕物余話シリーズ」は、深川と江戸城周辺を往来しながらの時代小説なので、必然的に大川が描かれています。前述の山本一力さんの「大川わたり」は、本所・深川方面に戻ることを禁止されたわけありの男の物語で、大川にかかる橋の手前で立ち止まる姿が切なく描かれています。

作家の先生方は場所の配置などは自らの地図のイメージで描いていることと思います。最近の時代小説文庫は読者を引き付けるために、作家のイメージに近い地図付きになっている場合が多くなっています。そのため江戸（今の東京）の地理に詳しくない場合でも困らなくなっています。皆さんも場所のイメージ・情景を膨らませながら読書すれば、時代小説の読書ももっと楽しくなるかもしれません。

秋の写真館

秋の山々の風景をご紹介します。
撮影／外来看護師 吉田姫美恵



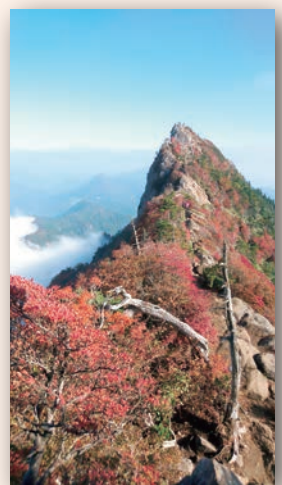
マユミの木と剣山



剣山御来光



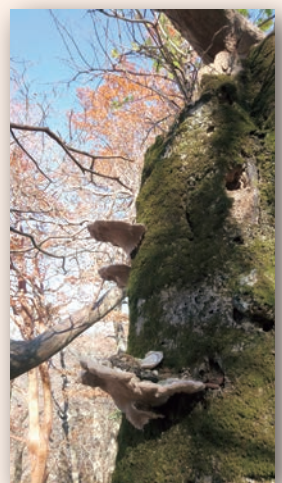
ツリブネソウ



石鎚山



ジンジソウ



猿の腰掛け

● 看護学校便り ●

第38回学生祭を終えて

秋晴れの心地よい天気恵まれ、第38回学生祭「皆で心をつなげよう東徳祭～おむすび魂！一粒一粒立つ米に！～」を開催することができました。当日は地域の方々を初め、講師や実習施設の職員、支援学校の皆さん、保育園の園児とたくさんの方にきて頂き、ありがとうございました。

今年は、クラブの成果発表に力を入れ、ヨガ教室、手話

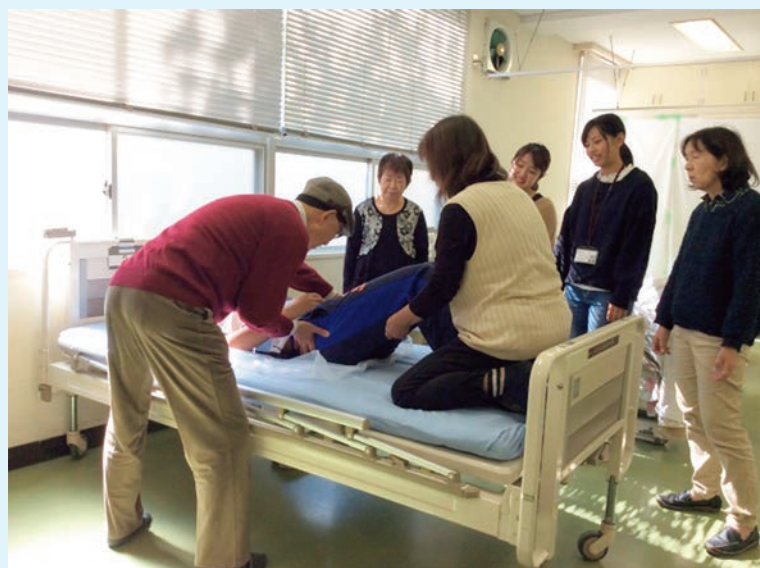
教室、野外ステージと皆様との交流ができる活動を披露することができ、笑顔で「よかったよ」と言葉をかけて頂きました。4月から始まった準備での苦労や練習で大変だったこともありましたが、テーマに込められた皆が笑顔になれるよう、おむすびの一粒一粒立つ米のように学生一人ひとりの個性を活かし協力したからこそその言葉だと思い、うれしく感じました。これからも東徳生として成長していけるよう、全員が協力していきたいと思います。

(学生祭実行委員代表／中瀬 朱里)



公開
講座

すぐできる！楽しく介護のコツ



今年の公開講座では、ご家庭で介護をされている方が多く参加してくださいました。大きな体格の人でも片手で簡単に身体の向きを変えられる方法や、自然な身体の起こしかたなど、介護される方の腰や膝に負担が掛からない方法を、学生が患者役となり参加者も一緒に行ってもらいました。飛び入り参加で「人間工学」の講義を担当している末田先生のアドバイスもあり、参加者は時間を忘れて「簡単にできる！」と講評でした。

途中のアイスブレイクで行った手遊び体操「もしもしカメよカメさんよ～」簡単そうで上手くできず、みんなで盛り上がりました。介護をする方もされる方も負担とならない、少しのコツで楽しく介護となるように、これからも活用していただければと思います。

(看護学校 教員／西村 麻紀)

ゆめタウン徳島へ行ってきました

9月12日、13日、19日に重症心身障害児（者）病棟の患者さんと社会見学でゆめタウン徳島へ行ってきました。外出する機会を楽しむ目的のもと、看護師さんにも協力してもらい実施することができました。

あいにく、台風が頻発する時期だったこともあり曇り空でしたが、ある患者さんは車の窓にかかるカーテンの隙間から外の景色をじっと見つめ、好きな赤い車を見つけるたびに「あった、あった」と嬉しそうな笑顔を見せていました。

ゆめタウン徳島に到着するといつもととは違う雰囲気患者さんたちは緊張し、にぎやかな店内に驚いた表情も見せていました。

患者さんたちは何かおいしいものを買って食べたい気持ちがり、食べ物屋さんの前を通るたびに、「あれにしようか、これにしようか」と考えられているようでした。「ケーキ？アイスクリーム？」と患者さんと相談し

ながら楽しく店内を散策し、ケーキのショーケースの前に立つと目が輝いてどれか一つを選ぶのに非常に真剣な様子でした。店員さんからケーキを受け取ると「持ちましょうか？」とお声掛けしても自分で持ちたいとしっかり膝の上に乗せてフードコートまで持っていかれて、食べている時は本当に幸せそうな表情をされていました。

患者さんたちが季節の変化を感じられるよう、ゆめタウン徳島の店内でハロウィンの装飾や売り物が長袖になっていることなどを声掛けしながら散策をしました。つい先ほどまで夏真っ盛りで半袖の洋服や水着が売られていたのに、セーターやハロウィングッズ、お鍋用の土鍋まで売られており、季節の変化を感じずにはいられません。

患者さんたちは普段とは違った雰囲気を楽しみ、充実した一日を過ごされていました。

（療育指導室 児童指導員／山地 麻耶）



糖尿病教室のごあんない



当院に通院されている方ならどなたでもご参加頂けます。
（ご家族の方も一緒にお話をお聞き頂けます。）
申込用紙は内科受付前のTVカード精算機の上にあります。

日時 2018年12月11日（火） 午前11時～午後2時

場所 第1会議室（2階）

内容 『糖尿病について』 林消化器科部長
『これならできる 減塩のコツ』 管理栄養士
※試食会（460円／材料費込） 筆記用具をお持ちください

